

# カリオン

Vol. 13



2011年2月

発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学校長 湯浅志郎  
編集責任者 事務部長 久保純一  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

## 日本赤十字社看護師養成120周年記念 看護学生のつどい



昨年は、日本赤十字社が看護師養成を開始して120周年にあたります。平成22年9月15日に東京の日本教育会館で、「日本赤十字社看護師養成120周年記念看護学生のつどい」が開催されました。伝統と赤十字精神を未来に向けて紡いでいこうと、全国の赤十字看護専門学校の2年生全員720名が集まりました。歌舞伎俳優12代目市川團十郎氏の講演や日航機墜落事故救護活動についての話を聞きました。

市川氏の話の中で、「先輩の側で何をやっているのか型を見る。その裏にある心を自分で考えることが大切である」という言葉を聞いて、先輩の看護を見て考えるという点で看護と通じるものがあると思いました。

最後に各学校の代表者が、今後も赤十字の一員として自覚と責任、誇りをもって精進していくことを誓いました。

(専任教師：井上 恵実)

### 行事予定 (平成23年1月～4月)

**1月** 19日(水)20日(木)平成23年度一般入学試験  
31日(月)～2月16日(水)第112回生基礎看護学実習Ⅱ

**2月** 20日(日)第100回看護師国家試験  
26日(土)第111回生災害拠点病院研修

**3月** 9日(水)卒業を祝う会  
15日(火)第110回生卒業式  
20日(日)～4月3日(日)春季休業  
25日(金)第100回看護師国家試験合格発表

**4月** 1日(金)新入生オリエンテーション  
4日(月)平成23年度授業開始  
5日(火)第113回生入学式  
8日(金)新入生歓迎会  
29日(金)～5月5日(木)保健週間

**姫路赤十字看護専門学校教育理念**  
本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

#### 【教育目標】

- 1) 人道（ヒューマニティ）を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。

- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

# 姫路赤十字看護専門学校 創立100周年記念品 陶板 除幕式

平成21年本校は、100周年を迎ました。それを記念して姫路赤十字看護専門学校同窓会より、VIDA「命」と題した陶板を寄贈していただき、平成22年11月14日(日)に除幕式を行いました。



## 100周年記念壁画の制作にあたり

ご縁あって初めて学校のロビーに立った時、神聖な空間と、厳かな光が目の前に広がりました。その瞬間、構図の全体像が浮かんだのです。額縁のデザインは、何度も曲線を描いている間に“空豆”的新しい命が、あの様な柔らかい繊維で包まれている不思議を思い出しました。作品のテーマは「命」です。世界中で一番多くの人々に使われているスペイン語のVIDAを添えました。超高度な医療技術は猛スピードで発達していますが、草花や虫たちや長寿の樹と、共に生きる人間の命であることを、忘れないでいてほしいと願っています。（新宮焼・鳳窯：芳野俊通）



## 姫路赤十字看護専門学校 第29回同窓会

平成22年11月14日(日)、第29回姫路赤十字看護専門学校同窓会がホテル日航で開催されました。日本赤十字社兵庫県支部事務局次長吉川様はじめ、第39回ナイチンゲール記章を受章された高橋令子名誉会員等4名の来賓、同窓生132名が参加しました。

総会の後、現在国際救援で活躍している高原美貴師長より「パキスタン北部紛争犠牲者救援事業報告」が行われました。昼食会では学生の頃に戻って話に花が咲いていました。

同窓会後、卒業生が100周年記念の陶板や看護学校内を見学されました。凛とした先輩の姿に我々後輩は元気をいただきました。

次回開催は2年後の予定です。

(教務主任：柳めぐみ同窓会事務局)



# 日本赤十字社兵庫県支部創立120周年記念 兵庫県赤十字大会

平成22年11月8日(月)、私達一年生は日本赤十字社兵庫県支部創立120周年記念兵庫県赤十字大会に参加させていただきました。式典には日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下がご臨席になり、私はそのオーラと気品に圧倒されました。また私は、表賞状を妃殿下のところへ捧持するという貴重な役目をさせていただきました。

今回、このような名誉ある式典に出席させていただき改めて赤十字の一員であることを強く実感したとともに、一員として今、私に何ができるのかを考えさせられました。

(クラスⅠ)



## 関西看護学生看護研究大会

テーマ

「心臓超音波検査における患児の苦痛の軽減  
～啼泣の理由を考える～」

私は、第8回関西看護学生看護研究大会に参加し、先輩方の発表を聞いて改めて看護の凄さを感じました。それは、患者さんや家族にとって最も近い存在で、関わり方によって沢山の面で変化をもたらすことが出来るからです。実習は辛いことも沢山あると思いますが、患者さんの笑顔や何気ない一言は、私たちに大きな喜びや元気を与えてくれていると改めて感じました。実習は貴重な経験で、自分自身を大きく成長させてくれる場だと思っています。だから、患者さんに感謝し、患者さんにとってより良い看護が提供出来るよう、日々の学習に取り組んでいこうと思います。

(クラスⅡ)



発表者

## 日本赤十字社医学会総会

第46回日本赤十字社医学会総会が、平成22年11月11日(木)・12日(金)に仙台国際センターで開催され、学校から2題発表しました。1題は「小児看護学の講義に幼児前期対象理解演習を取り入れて」です。実際に幼児とその母親に関わる演習を取り入れた効果を発表しました。学生は、幼児の成長発達、関わり方等を生き生きと学んでおり、興味を持って学びを広げることの大切さを再認識しました。

もう1題は「病院フェスタ(看護学校部門)を開催して」です。学校を地域住民に開放し看護教育で使用している模型などに触れたり、老人・妊婦体験などを企画しました。赤十字や看護学校への興味関心を高める効果があり、特に子どもの頃からこのような体験をすることは将来の職業選択にも大いに役立つのではないかと考えました。

(専任教師: 松井 里美)



# キャンパスライフ

(平成22年度)

## 4月

- 入学式 6日(火)
- 新入生歓迎会 9日(金)
- 基礎看護学実習 I - 1 21日(水)22日(木)



基礎看護学実習



病院フェスタ

## 5月

- 兵庫県支部訪問 7日(金)
- ナイチンゲール祭 12日(水)
- 病院フェスタ 15日(土)
- 神戸まつり 16日(日)
- 第4ブロック合同災害救護訓練 21日(金)22日(土)
- 基礎看護学実習 I - 2・3



ナイチンゲール祭

※写真掲載



## 6月

- 職員オーストラリア研修 6日(日)~11日(金)
- 日本赤十字看護学会 19日(土)20日(日)
- オープンキャンパス 27日(日)
- 成人看護学実習 I



オープンキャンパス



トレーニングセンター



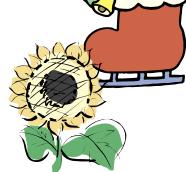
## 7月

- 兵庫県看護大会 6日(火)
- トレーニングセンター 21日(水) 22日(木)
- 赤十字救急法
- 夏季休業開始

# 奉仕団＆委員会活動

## 献血班

- 街頭での献血呼びかけ
- ひまわりキャンペーン
- クリスマスキャンペーン



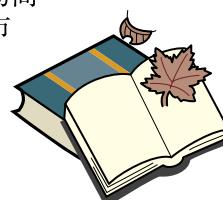
## 小児病棟訪問班

- こどもの日
- 七夕
- ハロウィン
- クリスマス



## 院内図書班

- 病棟訪問
- 古本市



## 施設訪問班

- 施設訪問
- しおさき夏祭り





可を得ています

## 8月

- 夏季休業～26日(木)  
 オープンキャンパス 4日(水)11日(水)18日(水)  
 魚の解剖 27日(金)  
 ケースレポート発表 30日(月)31日(水)9月1日(木)



魚の解剖



支部創立120周年式典で  
奉仕団活動が表彰されました



## 10月

- 球技大会 1日(金)  
 オープンキャンパス 3日(日)  
 戴帽式 27日(水)  
 戴帽を祝う会・シンポジウム 27日(水)



球技大会

## 9月

- 日本赤十字社看護師養成120周年記念  
 看護学生の集い 15日(水)  
 及びレクリエーション 14日(火)～17日(金)  
 期末試験 21日(火)～30日(木)



書写山登山



## 11月

- 保育所実習 1日(月)2日(火)  
 社会人入試 6日(土)13日(土)  
 兵庫県赤十字大会 8日(月)  
 関西看護学生看護研究大会 8日(月)  
 書写山登山 10日(水)  
 日本赤十字社医学会総会 11日(木)12日(金)  
 姫路赤十字看護専門学校同窓会 14日(日)

## 12月

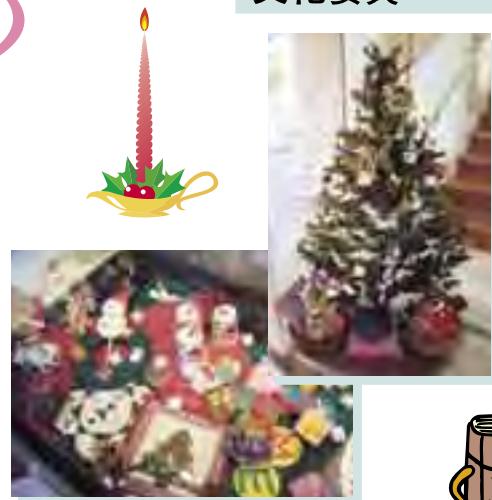
- 防災訓練 24日(金)  
 冬季休業



防災訓練



### 文化委員



学校をクリスマスマードに！

### 図書委員



おすすめの本を展示！

# 第112回生戴帽を祝う会

## シンポジウム

### 「赤十字の使命—救援・救護活動の実際」

1. 姫路赤十字病院看護師長救護指導員：濱田和代  
「兵庫県台風第9号災害佐用水害救護報告」
2. 日本赤十字社兵庫県支部総務部企画施設課主事：北村幸司  
「ハイチ大地震災害救援活動～基礎保健E R U事務管理要員としての役割～」
3. 姫路赤十字病院看護師長国際救援・開発協力要員：高原美貴  
「パキスタン北部紛争犠牲者救援事業報告」



学校エントランスで



112回生の皆さん、戴帽おめでとうございます。戴帽式の皆さんは、とても輝いていました。その輝きを無くすことなく、看護師という専門職に向かって自分を磨き上げていってください。そのためにも、何にでも興味や関心を持ち、そして相手を思いやる気持ちを大切にしてください。私は今回シンポジストをさせて頂いたことで、今までの災害看護に対する自分自身を振り返り、災害看護をもっと勉強したいという気持ちが強くなりました。

学習に遅いということはありませんので、赤十字の使命を忘れることなく、自己鍛錬していこうと思っています。

(濱田 和代)



私は、赤十字で働き始めてから5年になります。尼崎市内の商店街大火災や、一昨年発生したまだ記憶に新しい佐用町での大雨災害の救護活動、そしてハイチ共和国で発生した大地震の救援活動で実際の現場を目の当たりにしました。

被災地では、時に想像もしないような事態に直面することもありました。そこで常に注意していたことは、どれだけ冷静に対応できるか、また、これまでに得てきた知識や経験をどれだけ活かせるかです。実際の現場では自分自身が試されているようにも感じました。

これから看護師としての道を歩まれるみなさんには、必要とされる知識や経験はもとより精神力を身に着けるために、日々の授業や実習など学ぶ機会を一つひとつ大切にして、人として温かい心を養えるように学生生活を送っていただきたいと思います。

(北村 幸司)



高原美貴師長は、平成22年12月13日～平成23年2月14日まで、ハイチ共和国に派遣されました。現地ではコレラ罹患患者への医療救援活動に従事されています。

講演では、「パキスタン北部紛争犠牲者救援事業」の報告を聞き、「被災地でも、医療の現場でも一人では何もできません。人の話を聞き、自分の意見が言え議論できる看護師になってほしい。」と看護学生にメッセージを頂きました。

学生は、「講義や支部訪問で赤十字の救護・救援活動については知っていたが、遠い話のようだった。実際に活動された方の話を聞き、現地の状況の過酷さや異文化の中での活動の大変さが分かった。」と感想を述べていました。自分自身にできることは何かを考え、看護師になる夢に向かって決意を新たにしたようでした。

(専任教師：松井 里美)

# 講 師 紹 介



一昨年の国家試験対策講義から、「社会保障論」を担当させていただいております。私が約15年前に出会った姫路赤十字看護専門学校の先生から学んだ3K（感謝・感激・感動）を、学生たちが講義の中で実感できるよう、いのちの誕生から終末までを「NIE」<sup>注</sup>を取り入れて、専門の法社会学的観点から丁寧に伝授してゆきたいと考えています。伝統ある姫路赤十字看護専門学校で皆さんと共に学べることに感謝しています。

(社会保障論・関係法規講師：前島 良弘)

注：NIE (Newspaper in Education : 教育に新聞を)

「臨床心理学」担当の古好です。

人の「ココロ」ってどうなっているのか、少し気になりませんか？「ココロ」は、なんだかとてもデリケートな印象がありますが、実は、柔軟に対応している超優れもの！しかし、「ココロ」は誰にも見えません。こんな、不思議で魅力たっぷりの「ココロ」の謎を皆さん一緒に解き明かしていきましょう。さあ、Let's心理学！

(姫路赤十字病院心理判定員(臨床心理士)：古好 佳代)



昨年度は特別講義「皮膚排泄ケア」を担当していましたが、今年度はクラスⅡ「老年看護の実践」の中の『褥瘡ケア』『人工肛門造設術を受けた患者の看護』と「在宅における看護技術」の中の『排泄の援助－特に人工膀胱をもつ患者の看護』を担当します。実際の写真や私自身が経験した事例を紹介しながら、実践に役立つことのできる講義を心がけています。

講義中に「真顔で面白いことを言うね。」などと評価していただいている声も聞いたらしますが、感情と創造力が豊かな看護師になっていただけたらと願っています。

(姫路赤十字病院看護師長 皮膚・排泄ケア認定看護師(褥瘡管理者)：松本 由美子)



## 歴史シリーズ

### 吸 入 器

空気が乾燥し、風邪をひきやすい季節になりました。

咽喉の炎症には昔から蒸気吸入が行われています。このような器具がない家庭では、薬缶（茶瓶）のお湯の注ぎ口に新聞紙を筒状に丸めて蒸気を誘導する方法も学びました。教科書には、顔面を火傷しないようにフードで覆った写真が載っていたのをご記憶の方もおありでしょう。写真後方は昭和39年購入の京大式電気吸入器で、前2器はそれ以前の吸入器です。 (副校长長：樺山 たみ子)



## 教員養成講習生教育実習

10月26日(火)から11月15日(月)まで、私たち兵庫県看護教員養成講習生5名が教育実習をしました。看護教育方法の理論と技術を実際に適用し、教育方法や教師のあり方を学ぶことが目的です。この実習は、授業や臨地実習の見学を行なったり、学生と交流の時間を持ったり、戴帽式の式典に参加したりと様々な経験をすることができました。

一番印象に残ったことは、学生対象に実際に講義を行なったことです。何度も指導案を検討し、模擬授業を行なう上で、緊張して学生の前に立ちました。「教員は決して教える立場でなく、一緒に考えながら共に学ぶ存在である。」と、今後看護教員になるうえでの姿勢を心に刻みました。

最終日に学生からプレゼントされた歌に感激、学生の皆さんに助けられた実習でした。

(講習生一同)



## エッグアート

昨年4月就職後、忙しい毎日を過ごして来ましたが、学生とともに久しぶりに楽しいひと時を過ごしました。

卵の殻が、作る人の感性でいろいろな作品に作り変えられていく様子は、とても不思議で魅力的でした。12月ということでクリスマスをテーマにしたものが多く、どの作品も最初は普通の卵の殻とは思えないほど素敵なものとなりました。

(教務助手：上荷 章子)



## ホームページ リニューアル

平成22年10月1日から学校ホームページをリニューアルしました。従来は、画面に制約があり、情報を充分お伝えできませんでしたが、今後は充実した内容にしていきたいと思っています。この学校新聞カリオンのバックナンバーもご覧いただけるようになりました。是非ご覧ください。

(参事：尾形 治美)

### 季節の花々

#### 「芽吹」



学校のエントランスホールに水仙を活けました。

小さな花から甘い香りが漂い、皆さんを出迎えています。水仙は、彼岸花科で、平安時代に中国から日本に渡ってきました。12月中旬から4月頃まで楽しめます。

(専任教師：藤元 由起子)

### 編集後記

平成22年もあっという間に過ぎてしまったという印象である。

机上で考えた新カリキュラムの講義や臨地実習を実践に移しながら、数々の行事にも参加した。それぞれの時期に精一杯取り組んできたことを振り返ると、もうその一つ一つが足跡になっている。こうやって何年も歩いてきたと考えると感慨深い。そしてまた、平成23年の第一歩を踏み出している。今年は学校にどんな風が吹くのだろうか。

(専任教師：名村 かよみ)